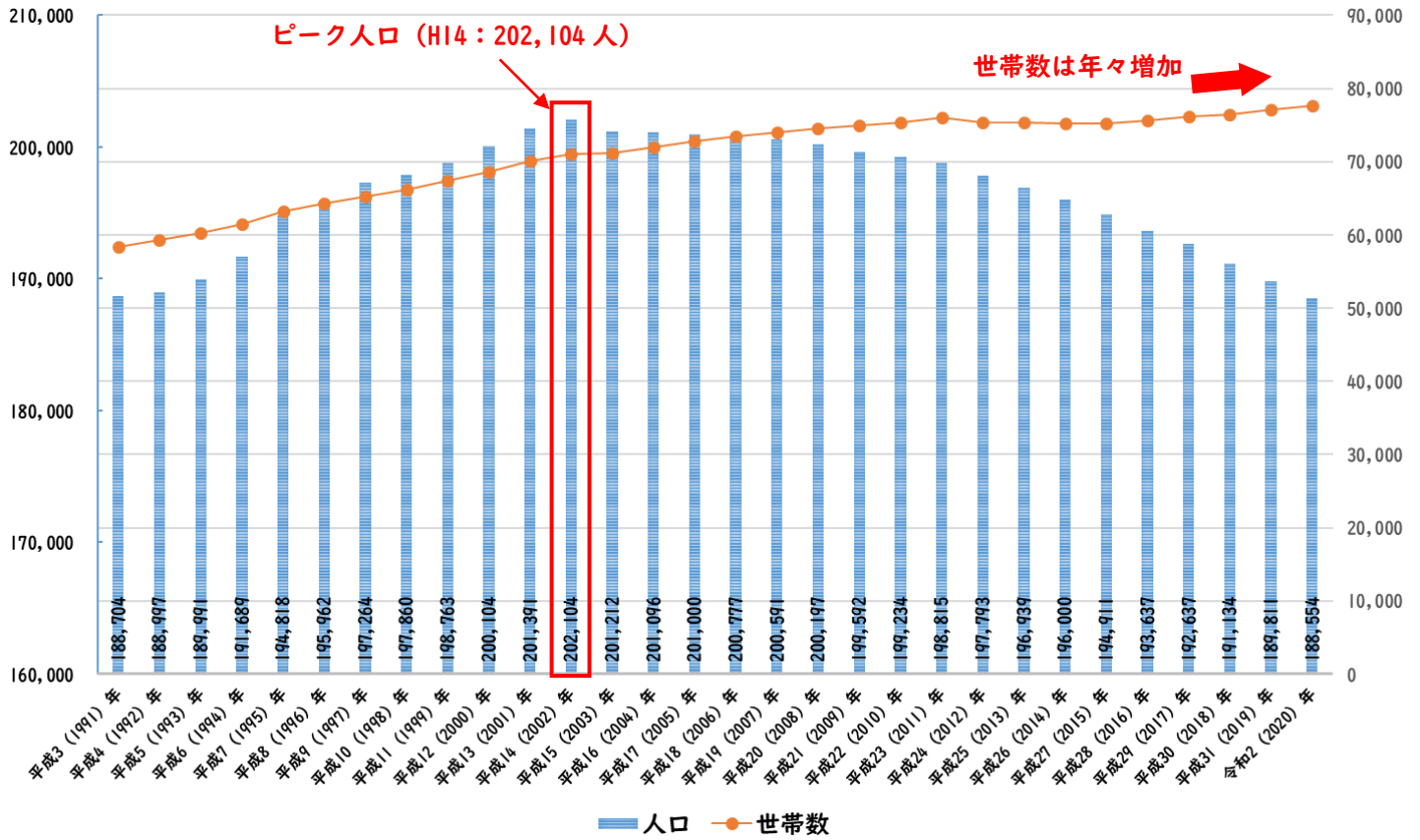


1. 策定の背景

岸和田市墓苑（流木墓園）は昭和 26 年に開設後、第 2 墓苑を併せて約 27ha（墓地区画数約 14,000）を供用しています。

本市では、平成 14（2002）年をピークに人口減少に転じ、少子高齢化や世帯数の増加など、社会情勢や家族形態の変化により墓地に対する利用者の考え方にも変化が見られ、近年の墓地の新規使用件数がほぼ横ばいに対して、墳墓返還件数が増加しています。

こういった状況を踏まえ、これまでの家族や血縁等により管理、継承する従来型の墓地を維持していくことを前提にしつつ、多様化するニーズを見据えた社会全体で供養する墓地として「合葬式墓地」を新たに整備するため「岸和田市合葬式墓地整備基本計画」を策定するものです。



人口・世帯数の推移（出典：大阪府統計年鑑）

2. 合葬式墓地について

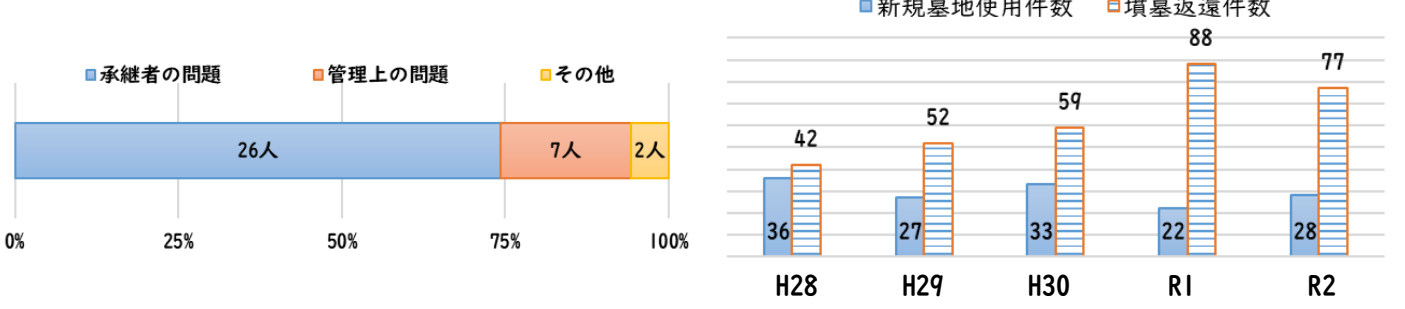
合葬式墓地と一般墓地の違いは次のとおりです。

	合葬式墓地	一般墓地
承継	承継を前提としない （社会全体で供養する）	家族や血縁等により承継する
形態	一か所に多数の焼骨と一緒に埋葬する 施設内への立ち入りは不可	個別に区画された墓所に墓石等を設置し、焼骨を埋葬する
墓参りの方法	共同の献花台の前でお参りを行う	各墓所にてお参りを行う
維持管理	施設管理者（市）にて行う	墓所の区画内は利用者にて行う（掃除料）
費用	永代使用料が必要 （個別保管室や墓碑銘を利用の場合別途要）	永代使用料、管理料、墓石の各種経費など
改葬の可否	合葬室に納骨した場合不可	可能

3. 需要予測について

（1）市民アンケート及び流木墓園の利用状況について

合葬式墓地の需要予測を算定に必要な基礎データとなる、過去に実施した市民アンケートや流木墓園の利用状況は次のとおりです。



墓じまいの理由について（H27 アンケートより）

流木墓園新規墓地使用件数及び墳墓返還件数

（2）墓地需要の算定について

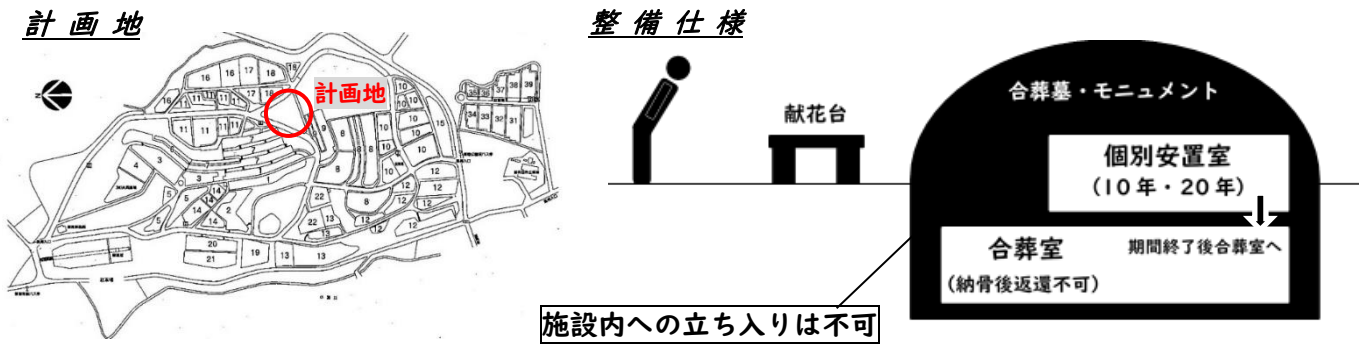
墓地需要の予測を行うため、全国的に採用されている「大阪府方式」により算定し、合葬式墓地の整備規模を検討します。

供用期間	市内公営墓地 需要推計	返還墓地 推計	合葬式墓地の需要推計			
50 年間 合計	7,519	3,000	新規	改葬	返還 墓地	市外
			4,982	700	1,500	97
合葬式墓地需要予測合計						7,279

4. 合葬式墓地の整備方針について

（1）合葬式墓地の整備方針について

上記需要算定に基づき、合葬式墓地の整備内容を定めます。



規模及び事業収支

	合葬室	個別安置室		墓碑銘
		10 年安置	20 年安置	
合葬式墓地の整備規模	7,500 体	300 体	600 体	5,000 体

※合葬式墓地の整備及び設計にかかる概算事業費（トイレ含む） 258,500 千円

合葬式墓地の使用料（焼骨 1 体あたり）	（例）合葬室のみ 50,000～100,000 円の範囲で設定
----------------------	---------------------------------

※今後詳細な検討を行い仕様、概算事業費及び使用料を決定します。

（2）整備スケジュールについて

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
合葬式墓地の整備について （トイレ整備含む）	設計	工事	供用開始 （合葬室＋トイレ）	供用開始 （トイレ）

